

長野県立大学
後援会

会報

2025.9

Vol.13



CONTENTS

1	ご挨拶	長野県立大学 後援会会長 久保 さやか
	あいさつ	長野県立大学 学 長 金田一 真澄

2～3	特 集 ～令和7年度着任教員の紹介～
-----	--------------------

4～5	特 集 ～交 流～
	＊ ＊一年生交流会＊ ＊
	＊ ＊交換留学生とコラボ－Regalo－＊ ＊

6～7	Campus Topics
	● 学生表彰
	● 令和7年度長野県立大学・大学院入学式
	● トラフィックフェア開催

8～9	令和7年度長野県立大学後援会総会
-----	------------------

裏表紙	Information
	● 令和7年度 後援会役員の紹介
	● 後援会事務局より

ご挨拶

長野県立大学 後援会会長 久保 さやか

会員の皆さまには、日頃より長野県立大学後援会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

4月の入学式では、金田一学長先生が新入生一人ひとりと握手を交わし、励ましの言葉をかけられる姿に胸が熱くなりました。

「1年次全寮制」や「全員参加の海外プログラム」など特色ある教育を展開し、洗練された開放感あるキャンパスでのきめ細やかな指導…。保護者の一人、そして後援会を代表させていただく身として、県立大生の皆さんにはこの上なく恵まれた環境でぜひ「学びのよろこび」を存分に味わってもらいたいと願っています。

ヘレン・ケラーが残した“Knowledge is love and light and vision.”（知識とは、愛であり、光であり、そして視野である）という言葉があります。私自身、この言葉を何度も実感してきました。「知」は想像力を広げ、相手を思いやる心を育み、視野を広げます。予測不能な現代を生き抜く“光”となってくれるでしょう。

この大学で学ぶすべてのみなさんが光を手にし、成長していけるよう、後援会として精一杯力を尽くしてまいります。今後とも皆様どうぞご協力をよろしくお願いいたします。



あいさつ

長野県立大学 学長 金田一 真澄

後援会にはいつも温かなご支援をしていただき、深く感謝しております。新たに就任されました久保さやか会長、どうかよろしくお願いいたします。

開学8年目を迎え、私も学長として最後の年となりました。

振り返れば、色々なことがありました。寮の地区のお祭りに学生たちが浴衣で参加したり、千曲川氾濫の際には1・2年生が救援活動に行きたいと学長室にやってきて、感動したこともありました。

コロナ禍の時は、新入生が自宅待機となり、教員たちがすぐにZoomを習得して、授業の停滞を補うといったこともありました。本学の看板である海外プログラムも1年次全寮制も、コロナ禍によって大きな影響を受けましたが、今は正常に戻っています。

4年目からは、大半の卒業生が毎年希望するところに就職できていますが、それは本学の海外体験や寮生活やボランティア活動が学生の主体性を育て、ガクチカとしても役立っているせいかもしれません。

現在は二つの大学院が創設され、幅広く充実した教育と研究を目指す段階となりました。

本学の学歌3番「時代はめぐり人は変われど、抱くは同じ気高き心」を、これからの学生たちにもぜひ受け継いでいってほしいと思います。



特集 ～ 令和7年度着任教員の紹介 ～

沂に浴し、舞雩に風し、詠じて帰らん

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 講師 王孫 涵之

私には、訪れた土地の漢詩を読む習慣がある。長野で読んだ佐久間象山の詩を紹介し、着任に際しての思いに代えたい。

杳野温泉を訪れた象山に仏岩禅師が蕎麦をおごった。象山は返礼に次の詩を詠じた。「点塵^{てんじん}雜^{まじ}わらず白^{しろ}きこと雪^{ゆき}の如^{ごと}く、条^{じょう}理^り紊^{みだ}れず細^{ほそ}きこと鬚^{ひげ}に似^にたり。日暮^{ひく}れて湯泉^{とうせん}に浴^{よく}盥^{かん}して後^{のち}、満盤^{まんぱん}の清味^{せいみ}風^{ふう}于^うに換^かう。」(『象山先生詩稿』「杳野村温泉仏岩禅師に恵まるる蕎麦^{きょうめん}に謝^{しゃ}す」) 一点の塵もなく雪のような蕎麦は、ひげのように細いが整然として秩序が乱れていない。夕暮れに温泉に入った後、皿いっぱい^{ぶう}の蕎麦の味は、湯涼みに取って代わるほど爽やかである。「風于(=雩)」は『論語』「舞雩に風し」を踏まえており、湯涼みの心地良さは孔子でも惹かれるほどだということを見事に示している。



ご挨拶

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 講師 ミシヨン ミゲルアルベルト

私は以前、この大学で非常勤講師をしていましたが、今こうして専任教員として働いていることは、まだ少し信じられない気持ちです。2009年に長野へ来た時は、スキー場で3か月のワーキングホリデーをする予定でした。しかし長野の美しい自然や人々のあたたかさにひかれて、気がつけば16年以上暮らしています。多くの学生が東京で働きたいと言いますが、私は地方でも大きなチャンスがあると思います。リモートワークや新幹線、コワーキングスペースなどを活用すれば、長野のような地域が日本の未来を支えるモデルになるでしょう。二人の子どもの親として、長野は自然と便利さのバランスがとても良い場所だと強く感じています。ここで生活し学ぶことが、みなさんの未来にもきっと役立つと信じています。

これからも学生の皆さんと一緒に、長野県の宝物を分かち合い、さらに学んでいけることを楽しみにしています。



2009年にスキー場で働いていたときの写真です

ご挨拶

健康発達学部食健康学科
講師

座光寺 知恵子

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、健康発達学部食健康学科に着任いたしました座光寺と申します。

私は長野県短期大学を卒業後、40年間病院の管理栄養士として、給食管理、栄養管理、チーム医療に携わり、今年度より大学教育の場に身を移すこととなりました。

大学に来てまず驚いたのは、若者の多さとその明るさ、そして吸収力の高さです。学生の皆さんの姿に、日々新鮮な気持ちをいただいております。また再びこの相ノ木通りを歩くことになり、懐かしさと感慨深さを覚えております。

現在は「臨床栄養管理学実習」を中心に授業を担当しております。長年病院にいましたので、臨場感のある実践的な学びを学生の皆さんに届けたいと考えております。

また、昨年より登山を始めました。どの山も中高年の星で輝いており、元気をもらえる場所です。保護者の皆様の中で登山にご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒させてください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



着任しての思い

健康発達学部食健康学科
助手

井澤 くるみ

私は長野県短期大学の卒業生であり、ご縁があって、この度助手として働くことができること、とても嬉しく感じております。大学卒業後は様々な現場で栄養士としての経験を積んで参りました。厨房の皆と協力して食事を作り上げること、自分が作った献立や食事で多くの人が健康で笑顔になること。栄養士として働くことは大変な面も多いですが、達成感ややりがいを感じることができ、また「栄養」を通して多くの人と関われるかけがえのない職業だと考えています。これまでの経験から、栄養士の魅力や素晴らしさを学生に伝え、将来を担う学生の育成にお力添えできればと思います。また大学は私にとって、在学中も卒業後も『いつでも相談できる場所』でした。いつでも相談できる温かい場所があることはとても心強く感じており、これからは私が学生にそのような場所を提供できる存在になれるよう、業務に励んで参りたいと思います。



学生生活で一番楽しかったのは、大学での4年間でした

健康発達学部食健康学科
助手

鴨志田 涼花

母校で働くことができるって素敵だなという思いを抱いておりました。食健康学科の助手として働けるチャンスが本当に訪れるとは思わず、こうして自分が過ごしたキャンパスに戻ってきたことを嬉しく思います。長野県立大学での4年間では、難しい課題にぶつかる場面もありましたが、そのたびに意見を出し合って話し合うことで、一人では思いつきもしなかった考え方に会いました。専門的な知識を身につけることに加えて、様々な価値観に触れることで成長することができました。同じ目標をもった仲間と学び合えたことは、かけがえのない経験となりました。今度は助手の立場として、学生や先生方の教育・研究をサポートし、一人ひとりが学び、自らの力を引き出せるよう支えていきたいです。教育環境が日々変化していくなか、新しい知識を吸収し続ける姿勢を忘れず、学生たちと一緒に成長していきたいと思います。



特集 ～ 交 流 ～

＊ ＊ 一年生交流会 ＊ ＊

仲間と作った最高の時間

一年生交流会 実行委員長 池上 苗穂

私は一年生交流会で実行委員会の委員長を務めました。今年はクラスマッチのような形式で、ドッジボールやバレーボール、リレー、借り人競争を企画しました。その中で一番大切にしたのは「みんなが楽しめること」であり、そのためにルールの工夫や進行のシミュレーションを重ねました。準備の段階では不安もありましたが、委員の仲間が意見を出し合い、協力してくれたことで少しずつ形になっていきました。当日はどの競技も白熱し、プレーヤーだけでなく応援する仲間の声も響き、会場全体が一体となって盛り上がりました。交流会を通じて、これまで話したことのない人と交流するきっかけができただけでなく、すでに知っている友人の新しい一面を見ることもでき、学年のつながりがより深まったと感じています。交流会が成功したのも、参加してくれた一年生や実行委員、そして学生サポートセンターの方々の支えがあったからこそだと思います。委員長としてこの経験ができたことを、心からうれしく思います。



＊ ＊ 交換留学生とのコラボRegaloー ＊ ＊

日本とイタリア、心でつながる夏のひととき

Regalo サークル長 岩崎 ちひろ

こんにちは。音楽サークルRegaloです。

7月17日、講堂でサークル初の昼休みライブを開催しました。この企画は、交換留学生として入部したセレーナさんの帰国前に、彼女を中心としたライブを行いたいという部員の声から実現しました。Regaloは年4回ほど定期ライブを行っていますが、8月1日の夏ライブには帰国で参加できないため、その前に特別なステージを企画しました。

演奏曲は、いきものがかりの「ブルーバード」、マネスキンの「I Wanna Be Your Slave」と「ZITTI E BUONI」です。セレーナさんの母国イタリアの曲と日本の曲を取り入れました。出演したのは全員新入生でしたが、楽器を始めてわずか4か月とは思えない堂々とした演奏に感動しました。当日は在校生のほか、学生サポートセンターの事務の方や先生方も来場され、手拍子や声援で大いに盛り上がりました。

ライブ後、セレーナさんは「日本での素敵な思い出になった」と語り、私たちにとっても仲間と音楽の力を実感できた大切な時間となりました。



Campus Topics

●学生表彰

令和6年度学長賞・学部長賞の受賞者は次の通りです。学長表彰式は4月22日(火)に開催されました。(学年は令和6年度時点)

学 長 賞

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

1年 高野 有加・溝口 結菜 2年 金井 美希・山本 葉月 3年 大谷 紗衣里・齋藤 七生

健康発達学部食健康学科

1年 藤井 咲蘭 2年 伊村 美優 3年 佐野 友梨

健康発達学部こども学科

1年 富井 くるみ・若松 詩葉 2年 藤浦 響・渡邊 彩花 3年 荒木 唯伽

学 長 特 別 賞

健康発達学部食健康学科 調理学ゼミ 「コイクイーン」

学 部 長 賞

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

1年 赤土 亜衣子・浅井 麗・新井 涼子・岡田 成美・亀山 ちひろ・菊地 優来・清野 夢
杳掛 歩奈・小林 都和・鈴木 葉央・高崎 葵・田中 衣織・永井 佐恵花・新田 遥音
守屋 愛心・山崎 なご実

2年 上原 晴貴・岡部 宇臣・嘉喜 いとか・加藤 悠河・上嶋 大聖・河原 虎太郎・神田 梨花
小林 さくら・佐野 七海・下倉 万由子・関和 美稀・高瀬 あい・林 美里・林 優奈
藤森 菜奈子・細井 優香・山田 虎太郎・頼實 由羽・綿貫 剛

3年 池田 星・宇佐見 直緒・大古田 愛美・大崎 琉雅・北原 結和・小林 奈々・酒井 力
瀬戸 美羽・田邊 桃子・土屋 菜々美・土屋 未来・徳竹 南海・中尾 晏菜・成澤 藍
保坂 桃子・松橋 りりか・光澤 文弥・宮川 彩音・吉沢 春音・細田 英作

健康発達学部食健康学科

1年 小林 一花・篠原 怜・春原 菜々子・中原 寧々・横山 美奈子

2年 女屋 里歩・林 実優

3年 今宿 麻衣・七原 茉莉花・樋口 優希・山崎 理央

健康発達学部こども学科

1年 有賀 はな実・有賀 柚葉・伊藤 葵・小島 夏歩・島田 暁里・高倉 結・館岡 有実子
田中 玖留実・新谷 朱莉・根津 夏風香・武藤 亜依・山口 乃々花

2年 大野 詩歩・春日 幸織

3年 徳武 千風・橋詰 奈津・矢崎 堇

●令和7年度長野県立大学・大学院入学式

令和7年度長野県立大学・大学院の入学式が4月7日（月）、三輪キャンパス講堂において、挙行されました。学部生252名、大学院生16名が新たなスタートをきりました。



学部生	・ グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科	176名
	・ 健康発達学部 食健康学科	34名
	こども学科	42名
大学院生	・ ソーシャル・イノベーション研究科	13名
	・ 健康科学研究科	3名

●トラフィックフェア開催（交通安全啓発）

4月3日（木）、本学では学生の交通事故防止および事故リスクの低減を目的とした交通安全啓発イベント「トラフィックフェア」を開催しました。このイベントでは、長野トヨタ自動車株式会社、株式会社トヨタレンタリース長野、長野県警察本部、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社のご協力を得て学生向けに運転シミュレーターなどの本格的な交通安全学習機材がキャンパス内に設置され、200名以上の学生が体験をしました。運転免許を取得した、またはこれから取得する学生の安全意識が高まることを期待しています。



令和7年度長野県立大学後援会総会

●令和7年度長野県立大学後援会総会の報告

令和7年度の後援会総会はWEB表決での開催となり、多くの会員のみなさまにご参加いただきありがとうございました。

- 第1号議案 令和6年度長野県立大学後援会事業報告
 - 第2号議案 令和6年度長野県立大学後援会収支決算書及び監査報告
 - 第3号議案 令和7年度長野県立大学後援会事業報告
 - 第4号議案 令和7年度長野県立大学後援会収支予算書
 - 第5号議案 令和7年度役員の選出
- 以上の議案がすべて承認されました。

令和6年度長野県立大学後援会事業報告

予 算 項 目	実施時期	事 業 内 容
会 議 費	5、6月	後援会総会、理事会開催
事 務 費	通年	後援会費振込依頼 総会案内、会報発送、作業補助謝礼
広 報 費	9月、3月	後援会会報第11号、第12号発行
サークル活動助成費	通年	公認サークル及びサークル本部会の活動費を助成
学生会活動助成費	通年	仲介委員会（学生会）の活動を助成
ボランティア活動助成費		支出を伴う該当事業なし
学園祭助成費	11月	学園祭「FUN2024」実施に対し、学園祭実行委員会へ助成
その他自主活動助成費	3月	新歓イベント準備に係る支出を助成
寮生交流活動援助費	10月	1年生交流会、スポーツ交流会の実施費用を助成
寮祭助成費	10月	寮祭を実施（@象山寮）し、費用の一部を助成
教育環境整備支援費		支出を伴う該当事業なし
キャリアアップ助成費	6月、10月	企業見学ツアーの実施費用を補助、就活情報セミナーの実施
福利厚生備品助成費	通年	信濃毎日新聞及び市民新聞の購入（寮）、図書館へ180冊の図書を寄贈
卒業生記念品	3月	卒業生へ記念品を贈呈（記念品の作成）

令和6年度長野県立大学後援会収支決算書

収入決算額 31,946,922円
支出決算額 5,839,157円
差引残額 26,107,765円（次年度へ繰越）

◎収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備 考
会 費	8,160,000	8,280,000	120,000	40,000円×205人、20,000円×4人(3年次編入)
繰 越 金	23,651,709	23,651,709	0	
諸 収 入	250	15,213	14,963	預金利息15,213円
収 入 の 合 計	31,811,959	31,946,922	134,963	

◎支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備 考
総 務 費	940,000	900,588	△ 39,412	
会 議 費	40,000	10,340	△ 29,660	web総会、理事会（1回）
事 務 費	600,000	652,648	52,648	封筒事務用品、郵送費、式典生花代
広 報 費	300,000	237,600	△ 62,400	会報第11号、第12号発行
事 業 費	7,900,000	4,938,569	△ 2,961,431	
学生自主活動促進費	4,700,000	3,257,756	△ 1,442,244	
サークル活動助成費	2,000,000	892,332	△ 1,107,668	公認サークル25団体及びサークル本部会へ活動費を助成
学生会活動助成費	200,000	100,075	△ 99,925	学生会組織へ助成
ボランティア活動助成費	100,000	0	△ 100,000	該当活動なし
学園祭助成費	2,200,000	2,078,318	△ 121,682	学園祭実行委員会へ助成
その他自主活動助成費	200,000	187,031	△ 12,969	新歓イベントへ助成
学生寮活動促進費	1,100,000	356,056	△ 743,944	
寮生交流活動援助費	400,000	90,145	△ 309,855	1年生交流会、スポーツ大会の実施費用を助成
寮祭助成費	400,000	265,911	△ 134,089	寮祭を実施（@象山寮）し、費用の一部を助成
教育環境整備支援費	300,000	0	△ 300,000	該当活動なし
キャリアアップ助成費	400,000	28,256	△ 371,744	学生向けキャリア支援
福利厚生備品助成費	700,000	389,331	△ 310,669	新聞2紙（寮）、寄贈図書（180冊）
卒業生記念品	1,000,000	907,170	△ 92,830	卒業記念品の購入
支 出 の 合 計	8,840,000	5,839,157	△ 3,000,843	
予 備 費 I	10,971,959	0	△ 10,971,959	
予 備 費 II	12,000,000	0	△ 12,000,000	
翌 期 繰 越	0	26,107,765	26,107,765	
総 計	31,811,959	31,946,922	134,963	

令和7年度長野県立大学後援会事業計画

予 算 項 目	実施時期	事 業 内 容
会 議 費	6 月、11月	後援会総会、理事会開催
事 務 費	通年	事務運営に係る消耗品の購入、郵便物の発送、学生アルバイトの謝金等
広 報 費	9 月、3 月	後援会会報第13号、第14号発行
サークル活動助成費	通年	公認サークル及びサークル本部会の活動費を助成 公認サークル：39団体（5月30日時点）
学生会活動助成費	通年	仲介委員会（学生会）による活動への助成
ボランティア活動助成費	通年	サービスラーニングへの参加に係る交通費等を助成
学園祭助成費	11月	学園祭「Fun2025」実施のため、学園祭実行委員会への助成
その他自主活動助成費	3 月	学生による新歓イベント準備への助成
寮生交流活動援助費	通年	全1年生を対象とした交流活動等の実施費用を助成
寮祭助成費	下半期	寮祭の実施費用を助成
教育環境整備支援費	通年	教育的効果の向上のための寮内環境整備事業を支援
キャリアアップ助成費	通年	インターンシップ参加等のキャリア形成費の助成、会員向け就活情報セミナー実施等による支援
福利厚生備品助成費	通年	寮の新聞の購入、寄贈図書購入、学生食堂の支援等による福利厚生者の拡充
卒業生記念品	3 月	卒業生へ記念品を贈呈

令和7年度長野県立大学後援会収支予算書

収入予算額 34,197,765円
 支出予算額 8,840,000円
 予備費総額 25,357,765円

◎収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A－B)	備 考
会 費	8,064,000	8,160,000	△ 96,000	40,000円×252人分×0.8
繰 越 金	26,107,765	23,651,709	2,456,056	
諸 収 入	26,000	250	25,750	預金利息
収入の合計	34,197,765	31,811,959	2,385,806	

◎支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A－B)	備 考
総 務 費	990,000	940,000	50,000	
会 議 費	40,000	40,000	0	理事会等
事 務 費	650,000	600,000	50,000	事務用品、郵送・切手、アルバイト謝金、入学・卒業式生花代 等
広 報 費	300,000	300,000	0	会報2回発行（9月・3月）
事 業 費	7,850,000	7,900,000	△ 50,000	
学生自主活動促進費	4,650,000	4,700,000	△ 50,000	
サークル活動助成費	2,000,000	2,000,000	0	公認サークル及びサークル本部会への活動助成
学生会活動助成費	200,000	200,000	0	
ボランティア活動助成費	50,000	100,000	△ 50,000	サービスラーニング参加交通費等助成
学園祭助成費	2,200,000	2,200,000	0	
その他自主活動助成費	200,000	200,000	0	新入生歓迎イベント準備への助成
学生寮活動促進費	900,000	1,100,000	△ 200,000	全1年生を対象
寮生交流活動援助費	400,000	400,000	0	
寮祭助成費	400,000	400,000	0	
教育環境整備支援費	100,000	300,000	△ 200,000	寮における教育環境整備支援
キャリアアップ助成費	300,000	400,000	△ 100,000	学生向けキャリア支援、会員向け就活情報セミナー等実施費用
福利厚生備品助成費	700,000	700,000	0	新聞代、図書寄贈、福利厚生事業実施
卒業生記念品	1,300,000	1,000,000	300,000	卒業記念品代、紙袋作成
支出の合計	8,840,000	8,840,000	0	
予 備 費 I	13,357,765	10,971,959	2,385,806	0
予 備 費 II	12,000,000	12,000,000	0	繰越すべき会費分の相当額
総 計	34,197,765	31,811,959	2,385,806	

議案に係る主な質問等（抜粋）

- Q－1・繰越額が支出総額の8割超えとなることについて、どうお考えか。
 ・予備費の使い道について教えていただけないでしょうか。

A－1 本会会費（事業原資）は4万円を加入時にのみ納入いただいています。これはおよそ、在学中毎年1万円が執行（受益）されると見込んでいます。従って、新入生約200人は来年度以降3万円（≒600万円）、2年生約200人は来年度以降2万円（≒400万円）、3年生約200人は来年度1万円（≒200万円）執行すると考えられますので、予備費Ⅱの1,200万円は極力繰越す必要があると考えます。一方で、予備費Ⅰについては、現段階では具体的な用途の決定には至っていません。これからも検討を重ねてまいります。

- Q-2・議案書説明に記載いただいたように、一部のサークルに助成恩恵が偏らないように、広く助成恩恵が受けられるように配分方法や上限等検討ください。
- ・サークルの助成積極的にお願いします。
- A-2 現在、サークルには年度当初に活動報告書・決算報告書・活動計画を提出してもらい、学生自身が金銭的な面（助成金等）を含んだ活動計画をたて、サークルを運営できるように見守っております。
- また、サークル本部会（学生組織）と連携を取りながらサークル活動が活発に行われるように、助成方法、金額等を検討してまいりたいと思います。
- Q-3 予算を活用しきれていない所を改善して、毎年同じ様なことを繰り返すだけでなく、時代に沿った案を取り入れてほしい。
- A-3 今年の予算額は、昨年度の決算額を考慮し作成いたしました。令和6年度は、初めて会員様向けの就活情報セミナーを実施いたしました。今年度も、役員・事務局と相談をしながら、会員様および学生の皆さんへの助成を実施してまいりたいと思います。

長野県立大学のホームページに掲載してありますのでご覧ください。

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>



Information

●令和7年度 後援会役員の紹介(カッコ内は学生の所属学科)

今年度も新しい方を迎え、スタートしました。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

- 会 長 久保 さやか（こども学科）
副会長 吉江 直也（グローバルマネジメント学科）
理 事 寺島 直子（食健康学科）
理 事 大川原 真紀（こども学科）
監 事 中島 宏昌（こども学科）
監 事 小松 瑞恵（グローバルマネジメント学科）

●後援会事務局より

学費あるいは授業等について、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務第一係 kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪8丁目49番地7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧ください。

長野県立大学後援会

検索

